

第2回

EXCELLENT

～社長の生き様～



丸尾興商株式会社

代表取締役社長 丸尾 高史氏

生い立ち

1964年に島田市で生まれた丸尾氏は、高校に入るまで島田営業所（現本社）の2階に住んでいた。当時とはときどき従業員も寝泊まりしていたようで、幼少期から会社との繋がりが強かったとのこと。高校生の時に言われた、叔父の辛辣な言葉に反感を覚えて、東京の大学へ進学し手に職を付けることを決意した。その当時は丸尾興商に入社する気は無かったという。その後、日本大学に入学し、雑誌が好きだったということもあって出版業界でアルバイトをしていた。その際に自分が書いた記事が掲載され感動を覚えたことをきっかけに、大学卒業後は出版業界に就職した。婦人誌やインテリア雑誌の編集を経て、1994年に婦人向け専門出版社の日本ヴォーグ社に入社したが業績下降とV字回復を遂げる期間に現場で働いた経験が後々の会社経営に生きてくることとなる。

チャレンジしたこと

子どもをのびのび育てたいとの意向から、2002年に地元島田市に戻り丸尾興商に入社したが、前職とのギャップに違和感を感じたという。入社後、倉庫管理や仕入管理に従事したが、棚の管理はメーカー任せ、拠点ごとの仕入価格がバラバラであった。また、全社での会議が無く、拠点間の情報共有や連携も無かった。そのためすぐに在庫管理の意識改革と仕入価格の統一化に着手した。また、全社会議を立ち上げ拠点間の繋がりを強化することで風通しを良くした。そのほかにも改革すべき部分が多くあったが、入社数年で役職も無かったため、年長者などからやっかまれることも少なくなかった。そのため、自身で営業統括の役職を作り、取締役にも就任することで表立って動

きやすくした。この頃から会社経営への意識が強くなってきたという。その後は「マルオの常識は世間の非常識」をスローガンに、不要な役職の廃止や事業部制への変更などを行い、2013年に社長に就任した。

経営信条

社長就任後は過去の職場経験から「業績が良いときに次の布石を打つ」という意識のもと、市場ニーズの変化を敏感に察知し、エンジニアリング部門や不動産事業部門を立ち上げたほか、輸入壁紙専門店をオープンさせた。また、「いい会社にこそ人が集まる」をスローガンに、こうのとりカンパニーやプラチナくるみんの認証を取得、ふじのくに健康づくり推進シルバー事業所に認定されるなど、社員の働きやすさを重視した社内制度の改革を進め、今や男女の育休取得率は100%となっている。これも女性従業員が多い前職での経験や自身の育児経験が活かされている。今後も社内アンケートを定期的実施し、個別のニーズを掘り下げた制度改革を進めることで社内環境を改善していき、社員一人ひとりがのびのびと働ける環境を作っていく意向にある。

（聞き手：静岡支店 調査第2課 黒田 怜）

会社概要 丸尾興商株式会社

TDB企業コード：430111647 法人番号：4080401017326

本店：島田市御飯屋町8753

TEL：0547-35-3121

事業内容：配管冷暖房装置等卸

URL：https://www.maruo.ne.jp/

プロフィール

1964年静岡県島田市生まれ。1987年に日本大学文理学部卒業、婦人誌、インテリア雑誌の出版社勤務を経て、2002年当社に入社。取締役営業統括を経て、2013年より現職。